

# 高齢者支援センター

高齢者支援センターでは、高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を送ることができるように支援しています。高齢化率が上昇し、認知症患者が増加する中、認知症になっても、本人、介護をする家族、そして支えてくれる方々が安心して生活することが出来るような街づくりを目指しています。

その一環として、一昨年から徘徊高齢者探索模擬訓練を行っています。この模擬訓練は、校区自治会、地区民生委員、消防団、校区住民、警察、消防署、市内の企業や介護事業所など、多くの方々が参加協力し、地域が主体となり訓練が実施されています。行政と市内3カ所にある高齢者支援センター（田原市社協・田原福寿園・あつみの郷）は訓練が円滑に、そして有効なものになるように後方支援として関わっています。これまで、清田小学校区、童浦小学校区で実施し、今年10月28日（金）に中部小学校区で実施しました。訓練には93名の方が参加しました。

訓練の内容は、

- 認知症の方への接し方と行動パターンの把握
- 徘徊高齢者見守りSOSネットワークの説明
- 認知症の方が行方不明になってから、探索願が出されるまでのデモンストラーション
- 探索現地対策本部設置訓練の見学と参加
- 仮想行方不明者を設定しての探索訓練
- 行方不明者発見時の連絡訓練

訓練を実施することで、地域の方々に田原市で行われている対策や制度、認知症への理解を深めていただく機会となります。更に、地域住民と関係機関が連携をすることで、安心して生活が出来る街づくりができるよう考えています。



三河田原駅での徘徊高齢者探索模擬訓練の様子

## 問合せ

田原市社協  
高齢者支援センター  
☎ 45-3611

# 就労移行支援事業所

## 6人目の就職者決定

就労移行支援事業所は、障害のある方の就職へのかけしとなるような様々な支援をしています。この度、当事業所利用者1名が、田原福祉センター内の清掃業に就職しました。

## 就職先企業様の声

当事業所から卒業し就職した2つの企業、東海紙器株式会社とワタミ株式会社を紹介します。

東海紙器株式会社は、段ボールの加工業で、卒業生は金属部品の緩衝材などを作っています。少人数でのグループ作業が多く、周りの人と協力しながら、完成品を作り上げています。

ワタミ株式会社は、飲食業で、卒業生は厨房の調理器具を並べたりする開店準備や、宴会料理の仕込み作業を行っています。開店準備は多くの作業があるので、わかりやすいように、当事業所が写真を使用した手順書を作成。間違えずに作業をしています。

少しの配慮と工夫で、障害のある方も、企業の一員として一緒に働くことが出来ます。就職したい障害のある方、また雇用に関心のある企業の方、ぜひ声をお掛けください。

ワタミ株式会社  
竹中店長

手順書を作成していただいたことで他の職員も働きやすくなりました。



東海紙器株式会社  
吉沢次長

素直に仕事に取り組み、仕事の効率も上がって助かっています。

